（２３） かんしょ

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除 防除時期	RACコード	薬剤
1 黒斑病 *Ceratocystis fimbriata*	1.無病の種いもを用いる。 2.罹病の疑いのある種いもは、 47～48℃の温湯に40分間浸漬してから伏せ込む。 3.苗の切取りは、いもから10cm位残して切り取る。 4.苗は植付前に、葉が温湯にひたらないよう、基部だけ６～９cmを47～48℃の温湯に10～15分間浸漬する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.ベンレート水和剤、ベンレートＴ水和剤は、苗の基部を薬液に浸漬後、水洗せずに風乾してから挿苗する。	植付前	1 M3･1	ベンレート水和剤 （混）ベンレートＴ水和剤２０
2 つる割病 *Fusarium oxysporum* f. sp. *batatas* *F. solani*	1.無病種いもを用いる。 2.無病のつるを用いる。 3.抵抗性品種を用いる。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.土壌消毒方法はⅢ－14. 土壌病害虫の防除の項参照。 2.ベンレート水和剤を植付前に使用する場合は、苗を薬剤に浸漬後、水洗いせずに風乾してから挿苗する。	土壌消毒	－ － － － －	クロールピクリン ドロクロール クロルピクリン錠剤 ガスタード微粒剤 バスアミド微粒剤
		植付前 または 挿苗時	1	ベンレート水和剤
3 基腐病 *Diaporthe destruens*	1.無病の種いもを用いる。 2.無病のつるを用いる。 3.圃場で使用した用具は洗浄する。 4.排水対策に努める。 5.発病株の早期発見に努め、発見した場合は抜き取り、圃場外で適切に処分する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.土壌消毒方法はⅢ－14. 土壌病害虫の防除の項参照。 2.ベンレート水和剤、ベンレートＴ水和剤は、苗を薬液に浸漬後、水洗せずに風乾してから挿苗する。	土壌消毒	－	ガスタード微粒剤
		植付前	1 M3･1	ベンレート水和剤 （混）ベンレートＴ水和剤２０
		発生時	11 11 M1 NC･M1	アミスター２０フロアブル フリントフロアブル２５ ＩＣボルドー６６Ｄ （混）ジーファイン水和剤
4 アブラムシ類	1.圃場の周辺に防虫ネットを高さ1.3mぐらいに張ったり、シルバーポリマルチ、シルバーストライプマルチ、シルバーテープをするとアブラムシの飛来が少ない。 2.周辺雑草を処理する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.アドマイヤー顆粒水和剤で防除しているところでは、コナジラミ類の発生が少なくなる。	育苗期	4A	ベストガード水溶剤
		発生初期	3A 4A 4A 4A 9B	トレボン乳剤 アドマイヤー顆粒水和剤 スタークル顆粒水溶剤 ダントツ水溶剤 コルト顆粒水和剤
5 ハスモンヨトウ	1.卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.アグロスリン水和剤はエビガラスズメにも登録がある。 2.トレボン乳剤はアブラムシ類にも登録がある。 3.アファーム乳剤はシロイチモジヨトウにも登録がある。 4.トルネードエースＤＦは食害防止効果は速やかに発現するが、殺虫効果は遅効的である。	発生初期	1B 3A 3A 3A 5 6 6 15 15 18 22A 22A 22B 28 28 28 30 30 UN 1A･1B	エルサン乳剤 アグロスリン水和剤 トレボン乳剤 トレボン粉剤ＤＬ ディアナＳＣ アファーム乳剤 アニキ乳剤 アタブロン乳剤 ノーモルト乳剤 ロムダンフロアブル トルネードエースＤＦ ファイントリムＤＦ アクセルフロアブル プレバソンフロアブル５ フェニックス顆粒水和剤 ベネビアＯＤ グレーシア乳剤 ブロフレアＳＣ プレオフロアブル （混）ランダイヤ粒剤

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除		
		防除時期	RACコード	薬剤
6 ナカジロシタバ	1.幼虫は見つけしだい捕殺する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.アグロスリン水和剤はエビガラスズメにも登録がある。 2.トレボン乳剤はアブラムシ類にも登録がある。 3.トルネードエースＤＦは食害防止効果は速やかに発現するが、殺虫効果は遅効的である。 4.ナカジロシタバは突発的に大発生する性質があり、大発生は８～９月頃に多い。	発生初期	3A	アグロスリン水和剤
			3A	トレボン乳剤
			3A	トレボン粉剤ＤＬ
			15	ノーモルト乳剤
			18	ロムダンフロアブル
			22A	トルネードエースＤＦ
			22A	ファイントリムＤＦ
			22B	アクセルフロアブル
			28	プレバソンフロアブル５
			28	フェニックス顆粒水和剤
			28	ベネビアＯＤ
			30	グレーシア乳剤
			30	ブロフレアＳＣ
			UN	プレオフロアブル
			1A･1B	（混）ランダイヤ粒剤
7 ハダニ類	1.周辺雑草の除草に努める。 2.乾燥させないようにする。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.ハダニ類の防除しているところでは、コナラジミ類の発生が少なくなる。	発生初期	6	コロマイト乳剤
			21A	サンマイトフロアブル
			30	グレーシア乳剤
8 コナジラミ類	1.周辺雑草の除草に努める。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.ベネビアＯＤはタバココナジラミのみに登録がある。	発生初期	4A	スタークル顆粒水溶剤
			4A	アルバリン顆粒水溶剤
			9B	コルト顆粒水和剤
			21A	サンマイトフロアブル
			28	ベネビアＯＤ
			30	グレーシア乳剤
9 コガネムシ類幼虫	1.有機物はできる限り完熟したものを使用し、未熟な有機物は使用しない。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.ダントツ粒剤はアブラムシ類にも登録があるが、使用方法は育苗期の株元処理であることに注意する。	植付前	1B	ダイアジノンＳＬゾル
			1B	ダイアジノン粒剤５
			1B	ラグビーＭＣ粒剤
			4A	ダントツ粒剤
			4A	アクタラ粒剤５
			4A	アドマイヤー１粒剤
			4A	アドマイヤーイーモ粒剤
		植付時	1A･1B	（混）ランダイヤ粒剤
		生育期	1B	ダイアジノン粒剤５
			1A･1B	（混）ランダイヤ粒剤
10 ネコブセンチュウ	1.被害株の間引きを行う。 2.水田への転作が可能なところでは、１～２年間、畑を水田化する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.土壌消毒方法はⅢ－14．土壌病害虫の防除の項参照。	土壌消毒	8B	クロールピクリン
			8B	ドロクロール
			8B	クロルピクリン錠剤
			8F	キルパー
			8F	ガスター ド微粒剤
			8F	バスアミド微粒剤
			8A･8B	（混）ダブルストッパー
			8A･8B	（混）ソイリーン
		植付前	1B	ネマトリンエース粒剤
			1B	ラグビーＭＣ粒剤
			1B	ネマキック粒剤
			-(生)	（生）パストリア水和剤